

不整合箇所に係る点検実績確認結果

弁の略語 V: 手動弁, AV: 空気作動弁, RV: 安全弁及び逃し弁

※No.は、3/30報告書の機器No.に対応

号機	No	分類	系統	重要度分類	機器名称	事実確認メモ	質疑・応答	結論・問題点等メモ	確認資料
1	1	ポンプ	原子炉浄化系(CUW)	クラス2	原子炉浄化補助ポンプ(P13-2)	<p>□点検計画表において、第25回定検時は点検済み「●」と記載されているが、工事報告書ではメカクーラーについて、「※未点検により項目削除」との記載があったにもかかわらず、点検済みとして処理されていた。</p>	<p>□工事報告書に、※印での特記事項が記載されていたにもかかわらず、点検計画表が点検済みとなった理由を確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□現段階で原因は特定できないが、工事報告書に記載があってもその内容が伝わらないようであり、確認や連絡体制に何らかの不備があったことが推定される。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p>
1	8	弁	原子炉補機海水系(RSW)	クラス1	V15-32A	<p>□点検計画表において、第27回定検時に取替済み「■」と記載されているが、工事報告書の「分解弁一覧」及び「取替弁一覧」に該当弁の記載が無い。</p> <p>□第25回定検時の工事報告書では、該当弁の記載があった。</p>	<p>□可能性としては、発注漏れがあったのではないかと質問したところ、その可能性もあるとの回答あり。</p>	<p>□現段階で、原因は特定できないが、点検の発注（発注仕様書作成）から点検手順書・要領書の作成、工事報告書の作成の各段階などで、何らかの不備があったことが推定される。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p>
1	19	弁	炉心スプレイ系(RCS)	クラス1	V23-105A	<p>□点検計画表において、第28回定検時は点検済み「●」と記載されているが、工事報告書では、「漏洩確認のみ」実施されていた。</p> <p>□工事発注書では「分解検査の計画」となっていたが、パッキンのスバックが不明で、発注が出来なかった可能性があるとの説明。</p>	<p>□工事仕様書には、当該機器を分解点検する旨の記載は無かったのかと確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□現段階で、原因は特定できないが、工事の結果が点検計画表に何らかの理由で反映されていない。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p>
1	29	弁	非常用ガス処理系(SGT)	クラス1	AV26-1A	<p>□点検計画表において、第25回定検（3/30報告書の第24回定検は誤植）時は点検済み「●」と記載されているが、当該弁の分解点検が行われたことが報告書の弁リストに記載されていない。</p>	<p>□点検計画表が点検済みとなった理由を確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□現段階で原因は特定できないが、点検の発注（発注仕様書作成）から点検手順書・要領書の作成、工事報告書の作成の各段階などで、何らかの不備があったことが推定される。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p>
1	69	電源盤	中性子計装系(NMS)	クラス1	中性子源領域計測装置	<p>□点検計画表において、第27回点検時は点検済み「●」と記載されているが、電源盤のヒューズの取替えが、工事の発注書及び報告書に記載されていない。</p> <p>□当該ヒューズは特注品であり、発電所に在庫はないとのこと。ヒューズが切れたときは、バイパス対応となる。</p>	<p>□点検計画表が点検済みとなった理由を確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□現段階で原因は特定できないが、点検の発注（発注仕様書作成）から点検手順書・要領書の作成、工事報告書の作成の各段階などで、何らかの不備があったことが推定される。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p>
2	1	ポンプ	原子炉補機冷却系(RCW)	クラス1	A-RCWポンプ	<p>□点検計画表において、第13回定検欄は点検済みの●が記載されているが、実際には部品の取り替え（リーマボルト、ナット取替）が行われていないとのこと。</p> <p>□第13回定検時の工事報告書において取り替えの実績が無いことを確認した。</p> <p>□また、第13回定検時に施工者により作成された「取替部品管理シート」にも当該部品の記載はなかった。</p> <p>□第13回以前の至近の点検実績については、第9回定期検査時の工事報告書にて確認が出来るとのこと。工事報告書の中の検査成績書にて、当該機器の部品を取り替えた後に行われる検査を行っていることを確認できる為、取替済みと判断しているとのこと。</p>	<p>□工事仕様書には、当該部品を取り替える旨の記載は無かったのかと確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□現段階で、原因は特定できないが、点検の発注（発注仕様書作成）から点検手順書・要領書の作成、工事報告書の作成の各段階などで、何らかの不備があったことが推定される。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p> <p>○取替部品管理シート *施工者作成。機器、部品等を記載した一覧表</p> <p>○検査成績書</p>

不整合箇所に係る点検実績確認結果

弁の略語 V：手動弁，AV：空気作動弁，RV：安全弁及び逃し弁

※No.は、3/30報告書の機器No.に対応

号機	No	分類	系統	重要度分類	機器名称	事実確認メモ	質疑・応答	結論・問題点等メモ	確認資料
2	12	弁	窒素ガス制御系 (NGC)	クラス1	AV217-738A	<p>□点検計画表において、第11回定検欄は点検済みの●が記載されているが、実際には原子炉格納容器真空破壊弁の分解点検が行われたことを確認できない。</p> <p>□具体的には、工事記録（点検記録シート：施工者作成）の中に「分解点検」という項目が無く、確認できないとのこと。</p> <p>□第11回定検以前の至近の点検記録は、第8回定検時の点検記録にて分解点検を行った旨の確認ができた。ただ、点検計画表においては第8回定検時、当該機器は点検を行う予定は無い記載（×）となっており、ここでも点検計画表と点検実績との不整合が確認された。</p>	<p>□工事仕様書には、当該機器を分解点検する旨の記載は無かったのかと確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□第11回定検時の不整合については、現段階で原因は特定できないが、点検の発注（発注仕様書作成）から点検手順書・要領書の作成、工事報告書の作成の各段階などで、何らかの不備があったことが推定される。</p> <p>□第8回定検時の不整合については、平成17年10月より運用が開始された点検計画表の作成ミスも含めた様々な原因が考えられる。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書（点検記録シート）</p>
2	23	弁	原子炉棟空調換気系 (HVR)	クラス1	RV261-713	<p>□点検計画表において、第11回定検欄は点検済みの●が記載されているが、実際には当該弁の分解点検が行われたことを確認できない。具体的には、工事報告書において、アキュムレーター自体の空気漏れの有無についての点検記録はあるが、安全弁の点検記録が無い。（安全弁の点検：アキュムレーターから安全弁を取り外し、安全弁を別装置に取り付け空気圧をかけ、適切な圧力で空気を吹き出すことができるかの確認を行う）</p> <p>□第11回定検以前の至近の点検記録は無いとの事。</p>	<p>□工事仕様書には、当該機器を分解点検する旨の記載は無かったのかと確認したところ、現在原因も含め調査中との事であった。</p>	<p>□現段階で原因は特定できないが、点検の発注（発注仕様書作成）から点検手順書・要領書の作成、工事報告書の作成の各段階などで、何らかの不備があったことが推定される。</p>	<p>○点検計画表</p> <p>○工事報告書</p>